

目 次

I. 総括研究報告	
OECDプロジェクトでの成果物を厚生労働行政に反映させるための研究 -----	1
平林 容子	
II. 分担研究報告	
1. OECDにおけるAOP, TG及びGDの開発 -----	35
小島 肇	
2. <i>In vivo</i> と相関性のある <i>in vitro</i> 毒性評価系によるAOP及びTGの実験データ支援 -----	150
中江 大	
3. 発がん性試験のIATA及びAOP開発 -----	161
小川 久美子	
4. 発がん性試験におけるAOP及びTGの実験データ支援 -----	165
豊田 武士	
5. 遺伝毒性のAOP開発 -----	171
堀端 克良	
6. 免疫毒性のAOP及びTG開発 -----	177
足利 太可雄	
7. Bhas42細胞形質転換試験法のTG開発 -----	360
大森 清美	
8. 光毒性のAOP及びIATAの開発 -----	364
尾上 誠良	
9. 発達神経毒性に起因する行動解析に関する情報収集 -----	370
齊藤 洋克	
10. 腎障害・線維化の分子メカニズムに関する研究 -----	383
松下 幸平	
11. 毒性等情報収集 -----	388
山田 隆志	
III. 研究成果の刊行に関する一覧表 -----	395